

大安寺報

第50号



曹洞宗 圓祥山大安寺
住職：長岡 俊應
副住職：長岡 俊成
〒039-4401
青森県むつ市大畑町
本町 80 番地
Tel 0175-34-2926
Fax 0175-34-6426
E-mail info@daianji.jp
http://www.daianji.jp

名句・名言に学ぶ

佐藤初女(福祉活動家・教育者)
限界をひとつ乗り越えようと、また限界が出てきます。
限界をひとつ乗り越えようと、また限界が出てきますし、その過程は生涯続くものだと思います。

佐藤初女さんは、弘前市に「森のイスキア」を開き、素朴な食材を心を入れて調理して、心と身体に痛みを負った方のケアに力を尽くした方です。一昨年九十四歳で惜しまれつつ逝去されましたが、彼女の遺した言葉や献身的な生き方は、今も多くの方の人生の道しるべとなっています。息子さんやご主人に先立たれるなど、幾多の困難を乗り越えた彼女でしたが、冒頭の言葉はその過程での彼女自身の気づきであることを考えると、より深く、また強く私たちの心に響いてきます。クリスマスチャンであった彼女のこの言葉は、実は仏教の教えにも通じる意味を持っていることにお気づきでしょうか？迷いの世界から

悟りの世界へと到るための徳目である「六波羅蜜」の中に、「忍辱」があります。この徳目は、「苦しいこと、嫌なことを我慢して受け入れる」と誤解されることが多いのですが、本来は、「逆境にあっても、マイナスの感情を持たずに、プラスの感情を持ち続けようと決心すること」を意味します。しかし、なかなか実践することは難しいもの。チベット仏教の指導者であるダライ・ラマ法王十四世は、「逆境を様々な観点で考えてみなさい。様々な原因で苦しみを生じる。怒っても仕方ないことに対して怒るのは無益である。幸い、改善できることがあるのなら、それを改善すれば良い」「注意を自分に向けず他者に向ける努力をする」「自分のことを考えなくなれば、それだけ苦しみは減っていく」とお示しです。お彼岸は六波羅蜜を実践する期間。朝起きたらまず、「今日一日、道徳的に他者のために生きよう！」と誓いを立て、夜「今日は道徳的に生きられたかどうか」を反省してみる、そんな生き方に取り組んではいかがでしょうか？自分を変えていくのは一生の仕事。くじけず、たゆまず続けてまいりましょう。

仏事 Q&A 第三十六回

Q、数珠の持ち方を教えてください。
A、曹洞宗では、数珠は左手の親指以外の四指にかけて房が下にくるようにして持ちます。数珠の玉の数は、煩惱の数とされる百八個を基本として、半連とよばれる五十四個のものや、四半連とよばれる二十七個のものなど、いくつかの種類があります。玉の数が多くなると数珠が長くなるため、そのような場合は二重にして持ちましょう。また数珠を持って合掌する際は、数珠を左手にかけたまま両手で挟むようにして手を合わせます。数珠はお釈迦さまが在世だったころにはすでに存在していたとされ、仏教の歴史が詰まった仏具でもありますので、大切に扱いたいものです。
「おくるく曹洞宗の葬儀と供養」
(編著：曹洞宗岐阜県青年会 より)



行事報告

烏沢町内会 平成三十年度郷土学習会

去る九月十六日(日)午前十時より烏沢集会所にて開催された表記行事に、講話と坐禅の講師として副住職が参加させていただきました。

「曹洞宗の開祖である道元の教えから、曹洞宗の考え方を理解する」「椅子坐禅体験を通して、坐禅の意味を理解する」とを目的に開催された本行事には、三十五名の町内会員の皆さんが参加。「仏教・禅・坐禅のあらまし」と題し、前半は講話聴講、後半は椅子坐禅体験(約五分)を通して、仏教・禅・曹洞宗・坐禅などについて理解を深めていただきました。

また、事前に寄せていただいた質問(白木位牌の意味、六道輪廻の意味、六波羅蜜について、仏教とはどんな教えなのか)にもお答えしました。参加された方々は熱心に聴講され、質疑応答の時間も積極的にご質問いただきました。今回は、「葬儀のあらまし」についてお話しさせていただくことになりそうです。当寺では、今回のように、町内会単位での出前講座にもできる限りご協力させていただきますので、お気軽にご要望ください。

迎え火・送り火萬灯会

八月十三日(迎え火)・十六日(送り火)の両日、萬灯会を開催いたしました。本堂前、山門周辺に約七十の灯が揺れ、訪れた方は亡き方を静かに偲んでおられました。



ご案内

曹洞宗テレホン法話
曹洞宗宗務庁運営
0120-508-740
携帯の方は 03-3454-5410
※12月25日～31日
「掃除・作務のススメ」(副住職担当)

曹洞宗テレホン法話
「心の電話」
曹洞宗東北管区教化センター運営
022-218-4444



各種講座のご案内(平成三十年九月～十二月)

- ◆「月例写経会」(予約不要)
日時：九月三十日(日)、十月二十八日(日)、十一月二十五日(日)、十二月二十三日(日・祝) 午後一時～三時
内容：写経・法座(ミニ法話茶話会) 参加自由
場所：中広間 参加費：五百円 ※椅子席あり。
- ◆「暁天坐禅会」(予約不要)
日時：九月二十四日(月・振替休日)、十月七日(日)、十月二十一日(日)、十一月四日(日)、十一月十八日(日)、十二月二日(日)、十二月十六日(日)
午前七時～八時半 ※坐禅指導希望の方は午前六時半集合
内容：禅語紹介・坐禅・朝の法要・法座(茶話会) 参加自由
場所：本堂 参加費：無料 備考：椅子坐禅可能
服装：動きやすい服装で。(スカート・ジーンズ不可)
- ◆「夜坐」(予約不要)
日時：十一月九日(金)午後七時～八時
内容：坐禅指導(経行等)・坐禅①・経行・坐禅②・法座
※場所等は暁天坐禅会と同様です。
- ◆「写仏会」(予約不要)
日時：十一月十一日(日) 午後三時～五時(写仏終了後自由解散)
内容：説明・写仏 場所：中広間 参加費：二百円

行事カレンダー(平成三十年九月～十二月)

- 九月二十三日(秋分の日)午前十一時～「秋季彼岸会法要」
午後二時～「永代供養墓苑合同供養祭」※雨天時は本堂
- 十一月八日(土)午前十一時～「成道会法要」

編集後記

五十号目を迎えたのを契機に、誌面リニューアル(書体等変更)及び増頁を行いました。より親しみやすく、より読み応えのある誌面を目指して精進してまいります。(副住職)

次号のご案内 平成三十年十二月下旬に発行予定です。

大安寺の宗旨：曹洞宗 両本山：福井県 永平寺・神奈川県 總持寺 高祖：道元禅師 太祖：瑩山禅師
ご本尊：釈迦牟尼仏 本尊唱名：南無釈迦牟尼仏 (なむしゃかむにぶつ)